

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2025年 第36週 (9月1日～9月7日)

今週のコメント

○「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は12.3 (35週13.90、34週14.20) と横ばいです。高齢・障害者施設での集団感染の報告も増えており、手洗いや手指消毒、換気等の感染症予防を行いましょう。

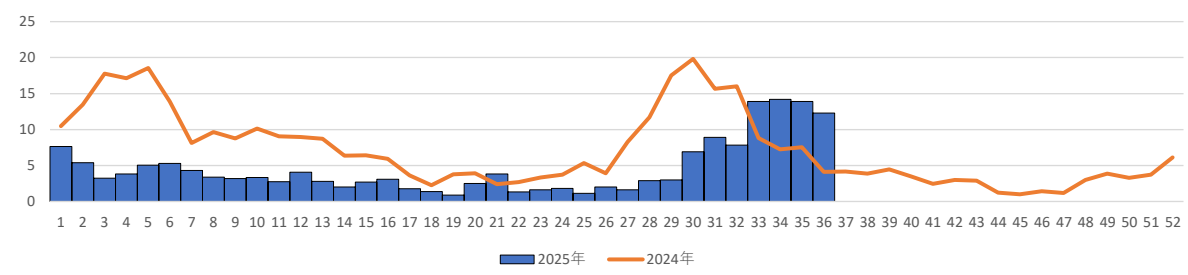
○「伝染性紅斑 (リンゴ病)」の山城北保健所管内の定点当たりの報告数は1.29 (35週1.00、34週1.29) と依然警報レベルを超えています。これまで感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。妊娠中の方やその家族に伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

○インフルエンザの京都府としての定点当たりの報告数が1.00を超え、流行入りが宣言されました。手洗いやマスク等飛沫感染対策を行い、流行の広がりを抑えましょう。インフルエンザワクチンは10月より開始される予定です。

<参考> https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/2025ful_1.html

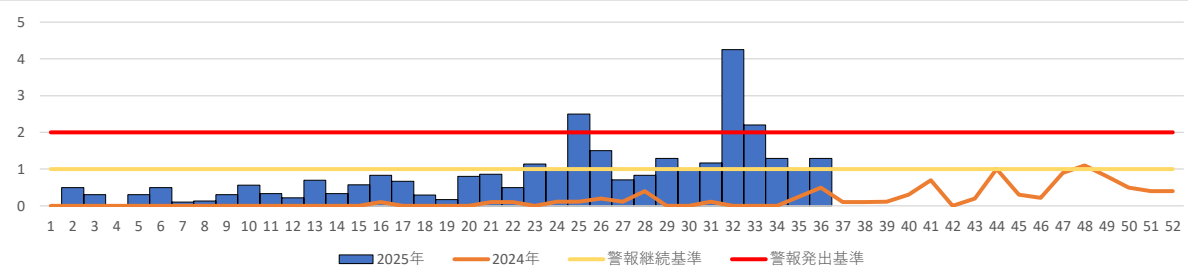
新型コロナウイルス感染症 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数 参考

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/2025natsuake.html>



伝染性紅斑 (定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数 参考

https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/palbob19_3.html



定点把握疾患

<特定の医療機関 (定点医療機関) を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	0.60 (3.00)	手足口病	0.71 (5.07)
新型コロナウイルス感染症	12.3 (0.88)	伝染性紅斑	1.29 (1.29)
RSウイルス感染症	0.57 (1.97)	突発性発しん	— (0.00)
咽頭結膜熱	2.29 (1.15)	ヘルパンギーナ	0.29 (1.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.86 (1.34)	流行性耳下腺炎	0.14 (1.00)
感染性胃腸炎	1.86 (1.09)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	— (0.00)	流行性角結膜炎	0.67 (0.00)

定点あたりの報告数 = 1 週間の報告件数 / 定点数

警 報 : 1 週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (警報の開始基準値) 以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1 週間の定点あたり報告数が別の基準値 (警報の継続基準値) 以上の場合に発生します。

注意報 : 警報が発生していないときに、1 週間の定点あたり報告数が、ある基準値 (注意報の基準値) 以上の場合に発生します。

全数把握疾患

<全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

分類	報告
1 類感染症	報告なし
2 類感染症	報告なし
3 類感染症	報告なし
4 類感染症	報告なし
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症(1件)

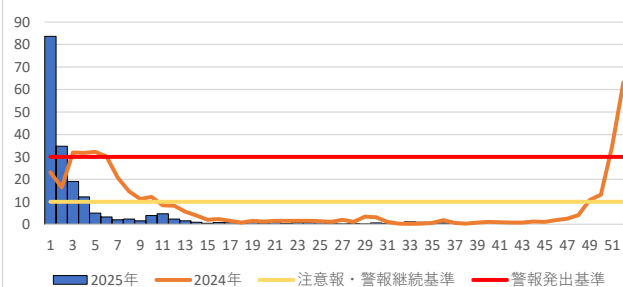
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考 : 京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

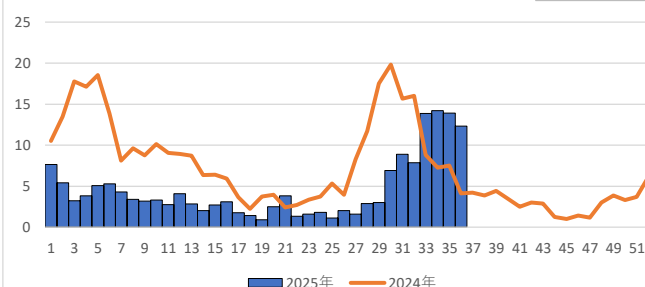
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



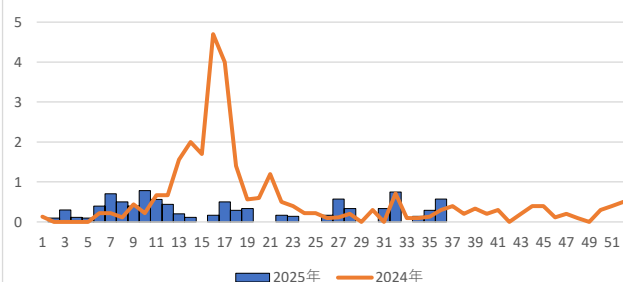
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

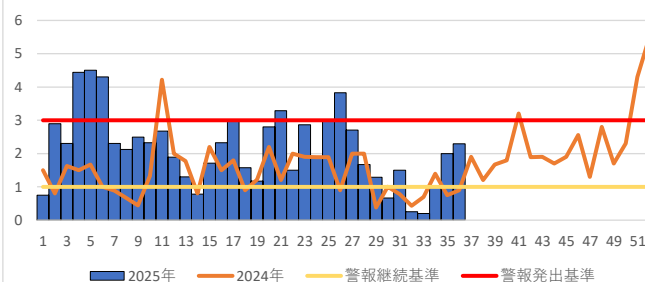


RSウイルス感染症

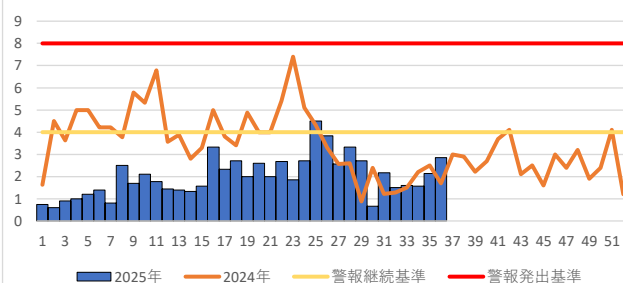
警報基準なし



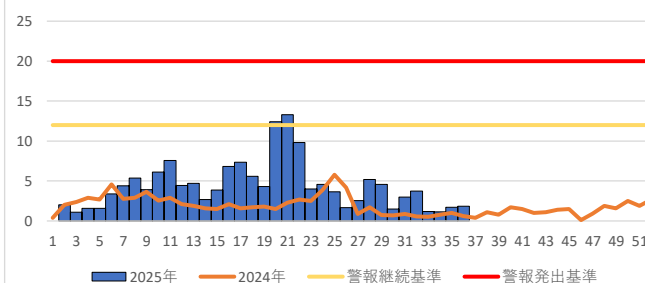
咽頭結膜熱



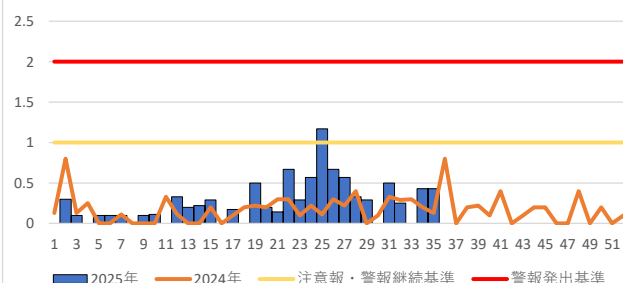
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



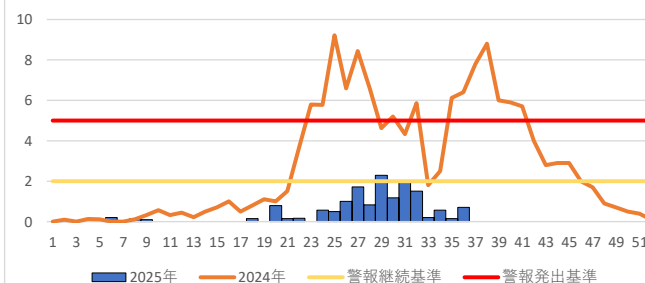
感染性胃腸炎



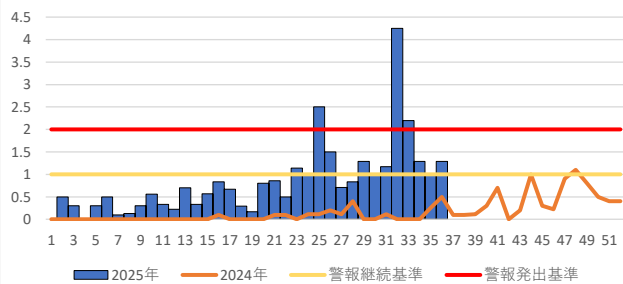
水痘



手足口病

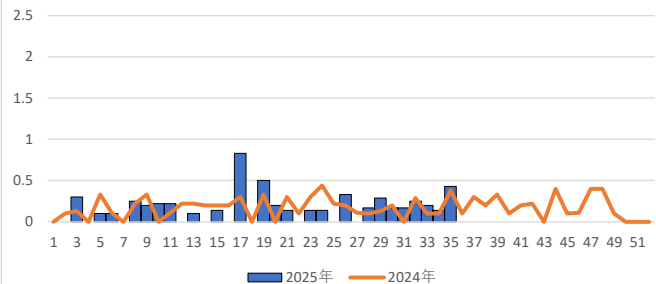


伝染性紅斑

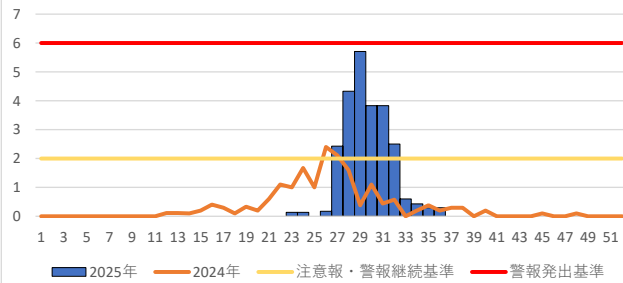


突発性発しん

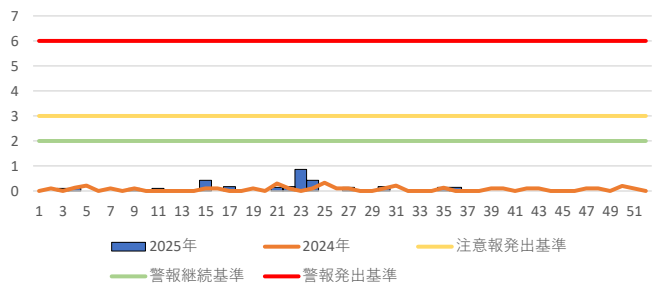
警戒基準なし



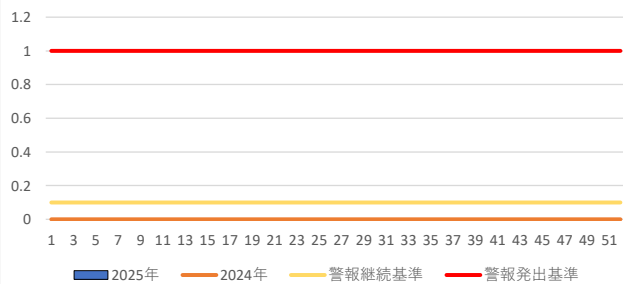
ヘルパンギーナ



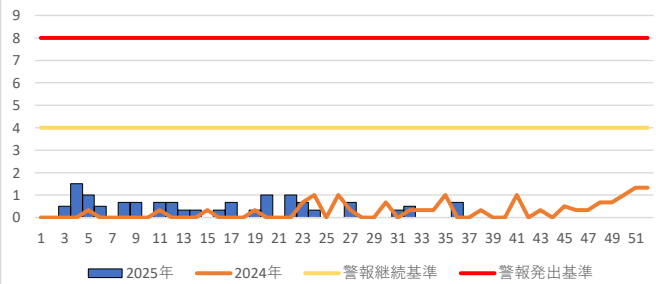
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

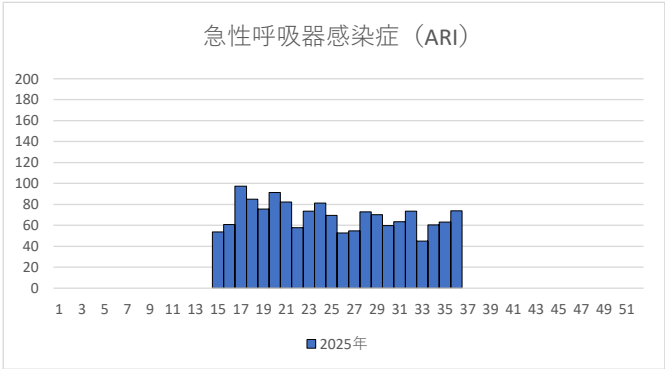
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	74.00（1.17）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始
参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況 <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>